

## 上田西部地域協議会会議録

日時 平成 19年 1月 29日(月)午後 7時 00分から午後 9時 05分

場所 上田市西部公民館大ホール

出席委員 表委員、金井委員、小林委員、菅沼委員、鈴木委員、滝澤委員、竹内委員、  
祢津委員、原委員、松本委員、丸山委員、宮尾委員、宮下委員、  
村山委員、母袋委員、森泉委員、横沢委員、和田委員

市側出席者 小林上田地域自治センター長、原沢自治振興課長、小宮山自治振興課課長  
補佐、柳沢主査

### 1 開会(原沢自治振興課長)

### 2 会長あいさつ(宮下会長)

本日は総合計画地域まちづくり方針の協議の最終日になるかと思う。事前に皆様のお手元にお送りした答申案の資料について、建設的なご意見を賜りたい。

### 3 会議事項

#### (1) 審議事項

##### 継続審議

第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」について(諮問)

(宮下会長)

本日の進め方について事務局から説明をお願いします。

(原沢自治振興課長)

それでは本日の進め方ですが、事前に送付申し上げた地域まちづくり方針の修正案について、項目ごとに項目名と内容について順次協議をお願いしたい。

それが終了したところで、地域まちづくり方針を総括した「地域の特性と発展の方向」について協議をお願いしたい。

(宮下会長)

本日はまちづくり方針 7項目について全体協議を行い、その後地域特性と発展の方向という総括的なジャンルに入って行くわけですが、本日はこのような進め方でよろしいでしょうか。

(宮下会長)

それではそのように進めさせていただきます。それでは地域まちづくり方針の修正案について事務局から説明をお願いします。

(原沢自治振興課長)

それでは項目「歴史的遺産の積極的な活用による地域振興」であります、前回「地域の人たち自らがまちづくりへの意識啓発ができるような」といった文言を入れたらどうかというご意見がございましたので、後段部分を「地域住民自らが地域の歴史を知り、～」と修正させていただきました。

(委員)

言葉の使い方の質問ですが、項目名は「歴史的遺産の積極的な～」とう表現になっており、方針の中では「歴史的な財産」となっているが、「歴史的財産」がいいのか、「歴史的遺産」がいいのかそのあたりの解釈はどうか。

(原沢自治振興課長)

歴史的な財産や資源を含めて、「歴史的遺産」とさせていただいたところである。

(委員)

文化財などは「遺産」の表現が一般的である。

(宮下会長)

事務局の説明は、財産や資源を含めて「歴史的遺産」ということであるが、皆さん、こういう表現でどうでしょうか。

(原沢自治振興課長)

「～歴史的な財産や資源が豊富にあり、こうした財産、資源を保存し、～」を「～歴史的な財産や資源が豊富にあり、こうした遺産を保存し、～」と修正することでいかがでしょうか。

(委員)

後ろを「遺産」にするとわかりやすい。

(宮下会長)

ただいまの事務局の修正案どおり進めることでよろしいでしょうか。

了承

(宮下会長)

それでは項目に移りたいと思います。「地域に誇れる自然環境の保全と有効活用」について事務局から説明をお願いします。

(原沢自治振興課長)

後段の桜づつみのホタル水路につきましては、前回の意見をもとに「更なる整備をはじめとした～」から「周辺整備をはじめとした～」に修正しました。

(委員)

2行目に矢出沢川が出ているが、矢出沢川だけじゃなくて柘網用水も下塩尻まで流れているのでそれについてはどうするか。もし入れないとすれば「矢出沢川等」というような表現すればいいと思う。

(小林上田地域自治センター長)

他の地域協議会でも、1つか、2つ掲げて、「等」としている場合が多い。

(宮下会長)

そうすると「矢出沢川等」という表現とし、枅網用水等も含まれているということでしょうか。

(委員)

それでいいです。

(宮下会長)

他にございますか。項目 はよろしいですか。

了承

(宮下会長)

それでは項目 に移ります。

(原沢自治振興課長)

項目名ですが、「地域連帯力による安全なまちづくり」から「地域防犯力による安全で快適なまちづくり」に修正した。

方針の中の「地域子育て力」については、項目 に出てくるので、その部分は項目 にまとめさせていただいた。

「地域の連帯力」という表現については、コミュニティの関係の項目 が馴染むということもあり、項目 へ整理させていただいた。

それと前回ご指摘を頂いた部分で「行政・関係機関の連携」、あるいは「将来にわたり安全に暮らせるまちづくり」といったあたりを変更させていただいた。

(宮下会長)

ご意見等ございましたらお願いします。

(委員)

「防災」について全く触れられていない。少し触れておいた方が良くと思う。

(宮下会長)

ただいま、防災について入れた方がいいという提案を頂きましたけど、どうでしょうか。

(委員)

必要だと思います。

(原沢自治振興課長)

それでは、項目 へ防災について盛り込んでいくことで、事務局で検討させていただきます。

(宮下会長)

それでは防災という文言を入れることで、文章的な綴りについては事務局に一任する形でよろしいですか。

(委員)

結構です。

(宮下会長)

項目 について他にございますか。

(委員)

項目 と項目 で関連しているが、項目 の「あいさつの飛び交う地域づくり」、項目 で「元気なあいさつがまち全体に響く」とあり、あいさつについて両方の項目に出てきており、しつこい気がする。

(宮下会長)

事務局どうか。

(原沢自治振興課長)

項目 については、安全の視点のあいさつということで、あいさつすることが地域の防犯力の向上にもつながるということで掲げている。項目 については、子供の視点で、子供らしく元気に誰にもできるあいさつという意味で掲げている。2つの項目にあいさつが出てきているが、視点が違う。

(委員)

それぞれ関連性があるので、事務局案のとおりでどうか。

(委員)

項目 の「～元気なあいさつがまち全体に響くような子どもが明るく生きるまちづくりを地域ぐるみで進めます。」を「～元気なあいさつがまち全体に響くようなのを確認してさらに地域で育てるため、子供が明るく生きるまちづくりを地域ぐるみで進めます」としたどうか。

(委員)

あまり同じ言葉が続いてもいけないので、「元気な子供たちの声がまち全体に響くような明るいまちづくりを～」としたらどうかと思う。

(宮下会長)

事務局で少し調整してもらえないか。

(原沢自治振興課長)

項目 に入るが、『さらに「地域子育て力」を高め、元気な子どもたちの声がまち全体に響くような～」としたいと思いますがいかがでしょうか。

(委員)

地域の防犯力の問題ですが、地域であいさつし合うとか、いわゆる地域まちづくりの理念というのか、方針としては結構だと思うが、前回話が出た警察関係では、塩尻の派出所がすでに廃止になっている。そのあたりの治安の問題については、この地域協議会の中に重要な検討事項として公共施設の設置がありますが、それらについて具体的に、理念だけではなくて、現実の施設名を上げ

る必要がある。文章は別として考え方としてはそういうことです。

(宮下会長)

前回は警察署の関係についていろいろと意見が出ましたけれども、事務局どうでしょうか。

(原沢自治振興課長)

前回上田警察署の関係で、移転が考えられる、治安機関が存在しなくなる不安があるというお話がありました。事務局としてはまちづくり方針であるので、具体的なものは挙げずに、防犯という視点の項目ということで記載してあります。

方針の最後に「～幹線道路の渋滞の解消など、安全で良好な地域生活環境を創造します。」とあるが、そのあたりで入れられるかどうか検討してみたい。

(委員)

簡単に言えば仮定の問題であるが、地域まちづくりの計画自体がこの先 10年間の基になるわけですから、この方針に記載する内容は、やはり理念だけではいけないと思う。したがって、ここには若干それらしき言葉として、「行政・関係機関」とありますが、それらは先程申し上げたようなことは異なるように思う。ましてや幹線道路の渋滞解消というような問題とは少し意味が違う。

(小林上田地域自治センター長)

項目の後段「幹線道路の渋滞の解消など、」という表現になっているが、地域防犯力による安全で快適なまちづくりという視点から見れば、ただいまご意見のありました例えば警察署・派出所の関係も施設整備ということでそこに入ってくる。ですから、「幹線道路の渋滞解消、」の後ろに施設整備について記載し、最後に安全で良好な地域生活環境を創造します。」という表現の仕方がよろしいのかと考える。

事務局で調整して、皆様に修正案を送付申し上げたいと思いますがどうでしょうか。

(宮下会長)

それでは事務局で微調整することで御了承いただきたいと思います。

項目とが関連がありますので、一緒にご議論頂いております。特に項目の方はいかがでしょうか。

(委員)

項目ですが、前段は自然にふれて郷土に誇りを持てる子どもを育てるということである。後段は、さらに地域の子育て力を高めということなので、この前に学校との連携を入れていただかないと、地域の子育て力というのは地域だけでは育てることは出来ないの、「さらに学校との連携により、地域の子育て力を高め、元気な子どもたちの声が響くような、明るく生きるまちづくりを

地域ぐるみで進めます。」というように、学校を入れないと、学校抜きにしては考えられないので、「さらに」の後に「学校」を入れて頂きたい。

(宮下会長)

家庭と学校と地域というのが子育ての根本になるので、やっぱり「学校」という文言を入れるべきと思いますが、皆さんどうでしょうか。

(委員)

入れた方がいいと思います。〔複数の声あり〕

(宮下会長)

それでは「さらに」の後に、「学校との連携を深め」といった文言を入れることでどうでしょうか。

了承

(委員)

文言だけのことですが、項目 の最初に、「こども見守り隊」や「こどもはぐくみ隊」とある。「こども見守り隊」は西小学校、「こどもはぐくみ隊」が塩尻小学校のことと思う。西小の「こども見守り隊」は、正式には西小「児童見守り隊」という名称であると思うので、確認いただき正式名称を掲載できるようにしていただきたい。

(原沢自治振興課長)

正式名称を掲載してまいります。

(宮下会長)

他にいかがでしょうか。

意見等なし

(宮下会長)

項目 については御了解いただいたということで、項目 に入ります。事務局の説明をお願いします。

(原沢自治振興課長)

項目 「世代間交流が活発に行われ、地域コミュニティの確立を目指すまちづくり」です。

項目 のところで触れさせていただきましたが、「地域連帯力」という表現が項目 に入っていたわけですが、項目 に移させて頂きまして、「少子高齢化、核家族化が今後ますます進むことが予想される中、地域住民の共助により地域の課題を解決することが重要です。子どもからお年寄りまで世代を超えた一体感による「地域連帯力」の向上と地域のコミュニティの活性化を図ります。」ということで、こちらの方で「地域連帯力」という言葉を使っておりますのでよろしくをお願いします。

(宮下会長)

ご意見ございましたらお願いします。

(委員)

「一体感」を「交流」に変えたらどうか。そのほうがもっとわかりやすくなる。「子どもからお年寄りまで世代を超えた交流により、地域連帯力の向上と～」としたらどうか。

(宮下会長)

他にご意見ございますか。

(委員)

「子どもからお年寄りまで一体となった世代を超えた交流による『地域連帯力の向上』と～」としたらどうか。

(原沢自治振興課長)

項目名も「世代間交流～」となっているので、ただいまのご意見を参考に修正させていただきます。

(宮下会長)

まとめは事務局へお願いすることよろしいですか。

了承

(宮下会長)

項目 に移ります。事務局の説明をお願いします。

(原沢自治振興課長)

項目 ではありますが「地域が一体となり高齢者や障害者を支え、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めます」ということでありまして、前回の意見を参考にして、2行目ですが、「～地域住民の主体的な活動により福祉活動を展開し、～」を「～地域住民と行政関係機関との協働により福祉活動を展開し、～」と修正させていただきました。

前回具体的な医療施設名を入れたらどうかという意見があったわけですが、市の施設に該当しないものについては具体的な記載はしないことにさせていただいておりますのでご了承ください。

(宮下会長)

ただいま、項目 について説明いただきましたけれども、ご意見等ありましたらお願いします。

(委員)

項目 は、極端な言い方をしますと、最後の「誰もが安心して暮らせる地域づくり」というのが、これがまとめの文章だと思う。その前はそこに係っている、言ってみれば形容その他だと思う。

誰もが安心して暮らせる地域づくりという中で、何を安心してということになると、前回長野病院の問題をとり上げたわけです。ただいまのご説明にあ

りましたが、具体的な名前は挙げないということですが、市の施設ではなくとも、例えばこの上田にあるしかもこの地域にある公共施設、大きな病院であります。

それらについての機能を強化していくことについて、具体的にやらなければならないと思いますし、先程矢出沢川の問題について、「等」という言葉がありました。産院あるしその他民間の病院もあると思いますので、必要であれば「長野病院等」という言葉を使っただいて結構だと思います。これは非常に重要だと思うので、具体的に名前を挙げる、それを拡充、あるいは機能強化という言葉でやって頂きたいと思う。これは連携する相手として入れるものではない、地域のまちづくりの中の非常に重要なポイントになると私は考えている。

(宮下会長)

ただいま非常に具体的な名称が出てきた。事務局に伺うが、「長野病院」という名称を使っても問題はないのでしょうか。

(原沢自治振興課長)

市の計画の中に、市の施設でない民間施設等の施設の充実について入れるのは、難しいと思われる。要するに一般の施設を市が支援したりするのかそのあたりがはっきりしませんし、そういった意味でも難しいと思う。

(委員)

市の施設ではないから具体的な名称を入れないということですが、地域のまちづくりについて、必要ならば入れるべきであると思う。地域協議会の規則の中では、重要な公共施設の設置または廃止に関する事項が挙がっている。

これは非常に重要な施設だと私は思っている。先程警察の問題も出ましたけど、病院も同じくそれに劣らない非常に重要な公共施設だと思っている。私立の病院でなくこの間までは国立病院で、今は別法人になっていますが。公共施設としての重要性を考えると、皆さんが安心して医療を受けていられるでしょうか、そういう観点からすれば、地域のまちづくりの中で、健康面で安心したまちづくりをしようという時に、それを入れないということは、非常に私は欠けてしまうと思いますし、市の施設ではなくて他の機関だからということで、それだけ入れないということになりますと、全てがそういう問題になってしまうと思います。これは市であれ県であれ、あるいは国であれ、必要なものは必要、市民生活において必要なものは必要であるという認識のもとに、是非入れていただきたいと思う。

(原沢自治振興課長)

ただいまの意見につきましては、具体的な名称、若干表現を工夫して、入れる方向で検討させていただきたい。

最初の時にお話したが、現在全体の総合計画を策定中である。その中のまちづくり方針ということで、それを協議してもらっている。これを市長に答申をいただきますと、答申内容を全体へ送るようになります。本体の総合計画との調整を図って、最終的に決定していくことになります。本体との調整が必要になることについて、ご了承いただきたい。

(宮下会長)

いかがですか。

(委員)

入れていただければ結構です。

(委員)

先程の委員さんの意見と同じで、この地域のまちづくり方針は誰のためにあるかということを見ると、そこで調整するというのではなくてそのままそっくりここに出してもらいたいというふうに思う。前回は「市の産院、長野病院の機能強化を図り」という表現にするということで、この場で全体で決まったことですから、そのまま文言を変えないで出してほしいなと思います。ここはすごく大事なところであり、長野病院や産院がもしなくなった時のことを考えると、安心して暮らせる地域づくりがそっくりなくなってしまうことになる。そのあたりは調整ということではなくて、答申どおりきちんと載せてほしい。「市の産院や長野病院の機能強化を図り」とすることで前回決まって、各班の意見のところにも出ているわけですから、それを落とさないできちんと載せていただきたい。そうしないと西部地域協議会はその程度かなと思われてしまう。本体との調整はあるわけですが、きちんとそこは委員さんが言われたように、調整ではなくて、この文言のとおり、「市産院、長野病院の機能の強化を図り」と載せていただきたいと思います。

(委員)

質問ですが、長野病院の前に救命救急センターってできましたよね。あれは上田市も協力団体になっていますよね。

(原沢自治振興課長)

上田市で設置した施設です。

(委員)

長野病院とは関係ないのか。

(原沢自治振興課長)

長野病院と連携するために、用地を買って設置したものです。

(委員)

あそこはものすごく良い働きをしているので、それを含めて医療機関ということで挙げていただければと思う。

(小林上田地域自治センター長)

様々な意見をいただきました。基本的には地域のまちづくり方針ですから、これを最大限尊重するというのが基本的な考えでございます。

(委員)

項目 の中に「地域」という言葉が6回出てきており、読み進めていっても、あまりにも地域、地域と出過ぎかなという感じがする。地域住民の場合の地域はなくてもいいのではないか、その方が、何か言葉がすっきりするのではないかという印象を受ける。2行目最初の「地域住民」の「地域」と、2行目真ん中の「地域」はなくても意味が通じる。句読点がないのも気になるが、その繰り返しもあまりしつこい感じがする。

(原沢自治振興課長)

事務局で検討させていただきます。

(委員)

国語的なことはさておき、項目名の末尾が「～進めます」となっているが、「～進める」でいいと思うがどうか。

(原沢自治振興課長)

項目 と項目 については、「～ます」となっておりますので、他の項目名と調整させていただきます。

(宮下会長)

項目 については以上でよろしいでしょうか。

了承

(宮下会長)

項目 について事務局から説明をお願いします。

(原沢自治振興課長)

項目 については、2つの案を作ってみました。前回この地域の農業についていろいろとご意見を頂く中で、果たして農業生産活動の推進とか、この地域がそういった表現でいいかどうか疑問があるというようなご意見をいただく中で、-1につきましては、最初に地場産業に触れ、地元の商店の活性化に向けた方策にも取り組む、またの地域にふさわしい農地の保全ということで、「ふさわしい」というような表現とし、事務局案といたしました。もう一つの案は、前回の修正案とほぼ同じ内容となっております。

(宮下会長)

まず項目の -1から調整していきたい。これについてご意見を出してください。項目 -1は農業生産と地域に根ざす、項目 は地場産業の育成ということで表現しておりますけれどもいかがですか。

(委員)

-1がすっきりまとまっていると思います。

(宮下会長)

他にいかがでしょうか。

(委員)

「地域にふさわしい農地」とは、どういう意味でしょうか。ふさわしい農地という言い方がよくわからない。

(委員)

塩尻地区の特産物は何か。

(委員)

野菜とそれから種ですね。例えば大豆の種とか。

(委員)

農業について疑問だったので、前回の地域協議会の後に、詳しい方に聞いてみた。

塩尻地区では、先程出たように種大豆は、県内の80パーセントを生産している。その他に麦、麦畑もありますが、種の麦だそうです。それを売って生産性を産んで、農業に取り組んでいる。また野菜をスーパーに卸すとか、そういうことも伺ってきましたけど、実際に収益の上がる農業が営まれていることが現状のようです。

(宮下会長)

ただいまの委員さんの説明でいきますと、「地域の特色を活かした地場産業の育成」にあてはまる気がする。-1がいいのか、がいいのか、そのあたりのご意見を伺いたい。いかがでしょうか。

(委員)

-1がすっきりとしていてまとまっているが、今のご意見を聞くと、農業生産活動はかなり定着しているということなので、農地の保全ということよりも、「各種団体の協働した地域ぐるみの農業生産活動を推進し、地産地消を研究し、推進します」というように具体的に書いた方が、より地域の、塩尻地区の農業について推進していくのかどうか、ここできちんと方向を示した方がいいと思います。それだけ種大豆とか野菜とか生産性を産んでいるという状況であり、保全するという段階ではないので、「農業生産活動を推進し」という言葉を入れた方がいいと思う。「地元商店の活性化に向けた方策にも取り組みます。また、各種団体の協働した地域ぐるみの農業生産活動を推進します。」としたらどうか。作っているものが種大豆だと地産地消にはならないのかと思う。

(委員)

「特産物」という言葉はどこかへ入れた方がいいと思う。

(委員)

特産物になっているかどうかは、ちょっと疑問である。

(委員)

地場産業を西部地域の中で、どのように考えているのか聞かせてほしい。

もちろん農業も第一次産業である。この地域には卸団地もある。秋和、塩尻地区には、大きな工場もある。生産である農業、あるいは工場、それから流通、そういったものも考えて地場産業の育成となると総花的になるが、具体的に地場産業とは何を考えてここに挙げているのか聞かせていただきたい。

(原沢自治振興課長)

前々回の協議会で、紬の関係とか、酒造の関係とか地場産業的なものがあり、そういったものを活用した、といったご意見があり、それを参考にさせていただいた。

(委員)

地場産業の育成は、紬ならびに清酒ですか、そういうことになってしまうと、エスピーカレー、明星食品、長野計器等あるが、この地域にある産業の振興という点においては、地場産業という言葉が果たしていいのかなあ、と今の説明で感じるわけです。

産業の育成というのは、地域の振興には非常に大きなウェイトがかかってくると思いますので、これについては農業の問題もさることながら、非常に製造業、流通業等がこの地域では大きなウェイトを占めており、上田市の食料品の過半の量が流通しておりますので、それはこの地域しかないもので、そのへんからいけば、やはり地場産業という言葉の中に入っていないとすれば、産業振興としてもまちづくりの方針に入れておくべきだと感じている。

(委員)

地場の産業の考え方ですけれども、農業のように親子代々伝わっている産業、小さな町工場も結構ある。特殊なバネを作っている工場、チタンバルブを作っているところもあり、親子代々で伝わってやってきている工場などの地場産業と、それと先程委員さんが言われた流通をきちんと2つ並べて入れ込まないと、読んだ時に、昔からここでやっている人はそれが地場産業だと思っているだろうし、製造業、流通の関係は、産業振興ということになるんでしょうし、地場産業と産業振興を2つきちんと明記した方がこの地区にはふさわしいのではないかと思う。

北国街道に沿って地場産業があるし、左側は卸団地の方に新しい流通業が固まっているところがある。ここらあたりは、地域の特色というのか、上田市の産業とか、流通団地をつるといったところからの一つの流れですので、両方明記した方がもっとわかりやすくなるのではないかと思う。

(委員)

塩尻地区は代々築いてきている皆さん、今も頑張っておられるお宅が何軒もある。本当に中小企業という感じで、5人とか10人の小人数でやっているところもある。店との関係は国道沿いに随分あったが、スーパー等ができて減ってきたものの、頑張っておられる店がある。

そういうことでやはり地元で、お互い励まし合いながらこれからもやっていきたいというような若い人たちもおり、農業もそうですが、やはり商業、工業も含めて皆で応援してもらいたいと思っている。

(原沢自治振興課長)

本日の意見を参考にさせていただき、方針の内容を修正し、早めに送付申し上げたい。

(宮下会長)

答申の日時は決まっている。できるだけ早めにお送りいただければありがたい。

(宮下会長)

それでは項目 についてはよろしいですか。

了承

(宮下会長)

続きまして、「上田西部地域の地域特性と発展の方向」に移ります。事務局から説明をお願いします。

(原沢自治振興課長)

前回までのご意見をもとに、事務局案を作成してございます。7項目をまとめた総括的な内容になっております。

3行目に「地域防犯力を高め」とありますけれども、子育ての関係が入っていないので、「～地域防犯力、地域子育て力」としたらどうかとも思いますので、併せてご意見をお願いいたします。

(委員)

「快適な」から始まる場所ですが、防犯力を高めてということが次の7項目に書いてあることではないので、「創出すると共に」の後を、「世代を超えた地域連帯力」として、その次に、「『地域の防犯力・防災力』『地域の子育て力』と連携により、地域力を高め」としてはどうか。高めなければいけないのは、地域の力である。「世代を超えた連帯力」、「地域の防犯・防災力」、「地域の子育て力」、この後ろに私はさっき出てきた「医療機関との連携により、地域力を高める」と結びたいと思っている。

先程の歴史的資源というのは、遺産よりも、言葉がずっと広範に使われるので、この歴史的資源という言葉は良いと思う。「また自然環境・歴史的資源」と書いてありますけど、「歴史的遺産」よりも歴史的資源の方が、これからより資

源を活用していこうという西部地域の前向きな姿勢が出る言葉なので、歴史的資源の方がよりいいのではないかと思う。

(宮下会長)

他の委員の皆さんいかがですか。

(委員)

ただいまの意見は良いと思いますが、よくわからないところがあったので、できれば黒板に書いていただければありがたい。

それともう 1つ、最後の「住民参加により利活用を図る」については、何を利活用するのか、どうもすっきりしない感じがある。「歴史的資源や優良農地を保全し」何を利活用するのか。

(委員)

箇条書き的に整理するのはどうか。

箇条書き的にまとめれば、表現的にはわかりやすい。

(委員)

「」、「」・・・といった表現はあまりないと思う。方向性をわかりやすく示すということですので、重要項目を入れていくのが一番シンプルだと思う。まとめの部分と 1~7項目を分けて示さないと見る側にとっては、非常に理解しづらい内容となる。

(原沢自治振興課長)

今の意見は箇条書きにするということですか。

(委員)

箇条書きにする方法もありますし、見る方が特性と方向性がわかればいい。

この地域のあるべき姿に触れれば、そうするとわかりやすい。文章に全部入れようとすると無理がかかりますね。

(委員)

最初の 2行「太郎山山系から千曲川に～ 混在する地域です。」を頭にもってきて、地域特性と発展の方向で、教育問題、産業問題、防災問題等項目を入れて、最後に、「～住民参加により利活用を図ります。」と結ぶのが、一番シンプルなまとめ方だと思う。

見た方が何が重要かわかるようにすれば一番いいと思う。

(原沢自治振興課長)

全体のバランスもありますので、そのあたりも考慮し検討させていただきます。

(宮下会長)

3行目「快適な住環境を創出すると共に～」は、「快適な住環境を創出します」とし一旦文章を切っている。

上田市西部地域は、まず「快適な住環境を創出します。」で切って、そしてその後今黑板に書いてあるように、「『世代を超えた地域連帯力』、『地域防犯・防災力』、『地域子育て力』と関係行政機関との連携により地域力を高め～」としたらどうか。

(宮下会長)

先程出た意見を採用すれば、もう少し「」で、さっき項目 から まで議論したようなことも若干入れてもいいかなという気もする。項目別に入れていくとるとわかりやすい文章になるということですね。

(委員)

全体のバランスで、いきなり文章にならなければそれはそれで仕方ないと思いますし、ただ文章構成を考えると羅列するのは難しい。言葉はわかると思うが、だったら 7項目の中で特徴的に出された項目があれば理解しやすい。ただ全体とのバランスもあるかと思う。

(小林上田地域自治センター長)

地域特性については最初の 2行でいいと思います。

発展の方向については、今委員の皆様にご議論して頂いて、多少修正がありますけども、7項目について項目毎具体的な表現を協議していただいた。それで、これを相対的にこれを発展の方向ということで表現するんだということでもまずはご理解を頂きたいということで、西部地域の発展の具体的な方向は、今日ご議論いただいた、これを見るとわかりますよということでもいいと思います。

ですからこのところは、ごく簡単に明瞭に、方向を表現しないといけないということですから、いろいろなご意見があろうかと思いますが、今日いただいたものをもとにもう一度事務局で検討致しまして、一緒にお送りさせていただきたいと思う。

他の地域協議会についても、この発展の方向について協議をしていただいて、こんな方向でいいのではないかというものも 23ありますので、そちらの方も私共参考にさせて頂いて、整合を図りながらまとめていきたい。

(宮下会長)

「地域特性と発展の方向」については、本日の意見をもとに事務局で修正案を作成し、早めに送付してもらおうということで、それに対してご意見があれば定められた期日までにご連絡をいただくということでもよろしいでしょうか。

了承

(委員)

防災は、西部地域にとって重要なことですので、入れたらどうでしょうか。

(小林上田地域自治センター長)

防災につきましては、本日ご協議いただき、地域のまちづくり方針の中に新

たに入れることとしたので、全体の中で入れるか入れないかは、事務局の方で検討させてください。

(宮下会長)

それでよろしいですか。

了承

(委員)

表現はお任せしますが、「利活用を図ります。」で結んでいるあたりについては、よく検討して頂きたいと思います。

(委員)

「優良農地の保全」という言葉の入る場所が違うと、だいぶ違うと思う。

3行目の頭に優良農地を持ってくるとだいぶ違うと思う。「優良農地を保全し、快適な住環境を創出すると共に～」とすると、農業の農地を守ることによって住環境が保全されるという言葉になるので、そこに持って行くと、「自然環境、歴史的資源を住民参加により利活用を図ります。」となる。

## (2) 協議事項

会議録中の委員名の公表について

(宮下会長)

事務局から説明をお願いします。

(原沢自治振興課長)

1月18日に上田市地域協議会連絡会議、これは9協議会の正副会長さんの集まりですが、設置をいたしました。

その連絡会議の会長として、川西地域協議会の宮下会長、副会長に丸子地域協議会の片桐会長が選出されましたので、ご報告申し上げます。

これまで地域協議会の会議録につきましては委員名を公表しないで「委員」と記載してきましたが、連絡会議の中で、責任を持った発言、公開のためにも委員名も入れて会議録を作成して、それをホームページ等へ公開した方がいいのではないかという意見が多数であった。反対意見もあったわけですが、結局は、それぞれの協議会で持ち帰って検討してもらおうということになったわけですが、新たな考え方として本日ご提案したいのは、原則個人の委員名を公開をしていきたいということであります。ただし会議が非公開となった場合は当然公表しませんし、あと例えば何か協議案件で利害関係が生じるとか、そういった案件も出てくるかと思うので、そういった件につきましては協議会ごとに個人名は公表しない、その都度案件が出た場合に協議会で協議してもらえればどうかと

いうことであります。原則、公開していきたいということでもありますので、ご検討をお願いいたします。

(宮下会長)

プライバシーの問題も含んでおりますけれども、重要な事項ですので、今事務局のご説明に基づきまして、皆さんのご意見を伺いたい。

(宮下会長)

私どもの西部地域全体の未来について、熱く語っていますので、私どもの発言したことを公表することが恥ずかしいとか、そういうことはないと思う。

皆さんのこれまでのお話を聞いていると、安心安全なまちづくりについて非常に熱心に意見を出してもらっているし、それについて恥じることもないし、ましてや隠すこともないと思う。

ですから、事務局から提案ありましたとおり、原則として公表していくということで進めたいと思いますがよろしいでしょうか。

(委員)

結構です。

(宮下会長)

それでは、全員一致ということで、委員名は公表していくこととしますので御了承ください。

### (3) その他

(宮下会長)

その他について、事務局からありましたらお願いします。

(原沢自治振興課長)

次回の日程ですが、2月下旬を予定しておりまして、市から合併協議の協定書の関係で報告事項を予定しております。

(宮下会長)

今回は2月下旬ということでございます。

その他ございませんか。

(原沢自治振興課長)

9地域協議会全体の委員さんの研修会を3月15日午後2時から上田創造館で予定しておりますので、通知は改めて申し上げますがよろしく願いいたします。

(宮下会長)

最終答申の内容決定にあたり、熱心にご議論いただき、大変うれしく思っている次第であります。できるだけ早めに今日ご意見いただきました答申案について事務局から送付されるということでございます。ご意見のある方は早急に

ご意見を出していただくことでよろしく申し上げます。

それでは以上で今日の会議を終わります。ありがとうございました。